

戦 評

大会名 第63回全日本バレーボール高等学校選手権大会岩手県大会

女子 決 勝

会 場 名 : 奥州市水沢総合体育館

主 審 : 山岸 恵子

副 審 : 菊池 聡

試合結果

<u>盛岡女子</u>	3	}	26 - 28	}	1	<u>高 田</u>
			25 - 22			
			25 - 14			
			25 - 20			
			-			

戦 評

試合時間 1時間46分

1セット目、序盤は高田がセッター5番小友の速いトス回しから展開しリードする。中盤両チームとも好サーブから連続得点しデュースにもつれ込むも、最後は高田のエース1番井戸端(歩)が3連続でスパイクを決め、28 - 26と1セットをリードした。

2セット目は、中盤高田が4番レフト残間の強打で抜け出すも、盛女は途中出場10番中村の速攻が功を奏し追いつく展開となる。終盤はネット際の攻防を盛女が制し、25 - 22で1セットオールとした。

3セット目は盛女のエース1番高橋(沙)が本来の高さを見せつけ大量リードを奪う。高田も井戸端(沙)の速い平行で食らいつくが、序盤のリードが物を言い、盛女が25 - 14で押し切った。

4セット目は盛女が高さに硬軟を織り交ぜた攻撃で徐々にリードを広げる。高田は粘り強い守備からペースをつかみ追い上げるも、盛女が25 - 20と耐え切り、セットカウント3 - 1で5年振り17回目の優勝を遂げた。

7～10行にまとめること。

戦 評 者 : 徳田 卓仁

岩手県バレーボール協会 審判委員会